

平成 30 年度

医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」（公益社団法人 日本医師会へ委託）

医療事故調査を行うにあたっての知識及び技能の習得、医療事故調査制度を牽引する各医療機関の管理者、実務者の養成を目的とした研修。

◇対象：医療機関管理者、実務者、もしくはこれに準ずる方

◇開催日：

平成 31 年 1 月 17 日（東京）、平成 31 年 1 月 28 日（札幌）、平成 31 年 1 月 31 日（名古屋）

平成 31 年 2 月 7 日（仙台）、平成 31 年 2 月 18 日（岡山）、平成 31 年 2 月 25 日（大阪）、

平成 31 年 2 月 28 日（福岡）

◇受講者：医師 160 名、歯科医師 4 名、薬剤師 17 名、診療放射線技師 8 名、臨床工学技士 12 名、  
看護師 182 名、助産師 13 名、事務職 120 名、その他 18 名、計 534 名

◇プログラムおよび講師

13：00～13：05	開講挨拶 平松 恵一（日本医師会 医療安全対策委員会 委員長） 高久 史磨（日本医療安全調査機構 理事長） 渡邊 頭一郎（厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室 室長）
13：05～13：35	医療事故調査制度の概況 木村 壯介（日本医療安全調査機構 常務理事）
13：35～14：20	報告事例の判断について 山口 徹（日本医療安全調査機構 顧問兼医療事故調査・支援事業部 部長） 南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部 教授）
14：30～15：15	当該医療機関における対応 宮原 保之（日本医師会 医療安全対策委員会 委員）
15：15～16：00	支援団体・外部委員の役割 上野 道雄（日本医師会 医療安全対策委員会 副委員長）
16：10～16：55	報告書の作成 宮田 哲郎（山王メディカルセンター 血管病センター長）
16：55～17：20	総合質疑応答 講師全員
17：20～17：30	総括と閉講挨拶 城守 国斗（日本医師会 常任理事）